

2023 年

就職氷河期講座

1月生 テキスト

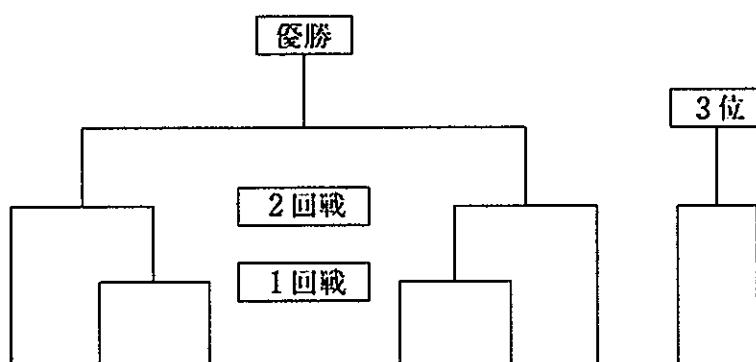
公務員試験専門 喜治塾

■就職氷河期 「教養・基礎能力試験」

| | | 特別区 | 都庁ⅠB | 都庁Ⅲ類 | 国家 |
|------|------|--------------------------------|---------------------------------|-------|--------|
| 知能分野 | 現代文 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | 英文 | 4 | 4 | 4 | 3 |
| | 判断推理 | 4 | 4 | 5 | 5 |
| | 数的推理 | 4 | 4 | 5 | 4 |
| | 資料解釈 | 4 | 4 | 5 | 2 |
| | 空間把握 | 4 | 4 | 5 | 2 |
| | 合計数 | 24 | 24 | 28 | 20 |
| 知識分野 | 社会事情 | 6 | 7 | 7 | 4 |
| | 人文科学 | 5 | 3 | 4 | 地歴 6 |
| | 社会科学 | 5 | 3 | 3 | 公民 6 |
| | 自然科学 | 5 | 3 | 3 | 理科 4 |
| | 合計数 | 21 | 16 | 17 | 20 |
| | 専門知識 | | 10 | | |
| | 総合計数 | 45 | 50 | 45 | 40 |
| | 備考 | ・必須問題30問 ・選択問題15問 から5問選択 | ・必須問題40問 ・他専門知識10問から5問選択して解答 | ・全問解答 | ・全問解答 |
| | 試験時間 | 1時間45分 | 2時間30分 | 2時間 | 1時間30分 |

【No. 1】 A～Fの6チームが、次の図のようなトーナメント戦で野球の試合を行い、2回戦で負けたチーム同士で3位決定戦を行った。今、トーナメント戦の結果について、次のア～ウのことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。ただし、引き分けた試合はなかった。

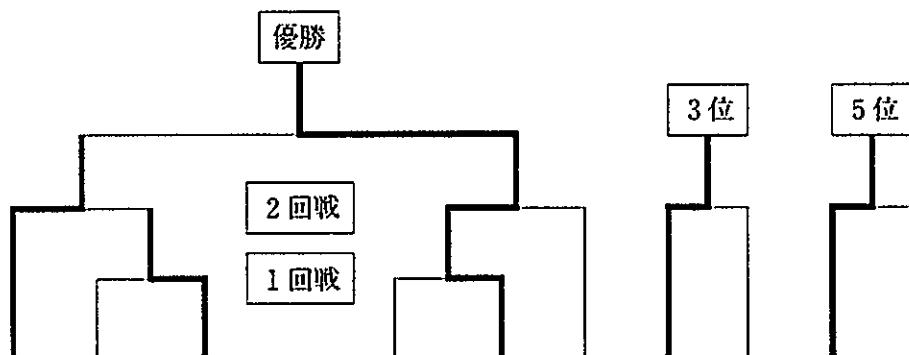
- ア Dは2勝1敗で準優勝であった。
- イ Fは2回試合を行い、2試合目はCと対戦した。
- ウ 1勝1敗のチームはなかった。



- 1 優勝チームは3回試合を行った。
- 2 1勝もできなかつたチームは3チームであつた。
- 3 AとCは対戦しなかつた。
- 4 Bは1回戦で負けた。
- 5 Fは3位であつた。

【No. 2】 A～Fの6人が次の図のようなトーナメント戦で柔道の試合を行い、2回戦で負けた者同士で3位決定戦を、1回戦で負けた者同士で5位決定戦を行って順位を決めた。今、次のア～エのことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。ただし、図の太線は、勝ち進んだ結果を表すものとする。

- ア Bは、Eに負けた。
- イ Cは、準優勝した。
- ウ Dは、2勝1敗であった。
- エ Fは、Eに負けて1勝1敗であった。



- 1 Aは、EとFに負けた。
- 2 Bは、3位であった。
- 3 Dは、AとBに勝った。
- 4 Eは、2勝1敗であった。
- 5 Fは、4位であった。

【No. 3】 A～Eの5人が趣味として行っていることは、カラオケ、ゴルフ、サイクリング、サーフィン、将棋のうち、それぞれ1つである。今、次のア～エのことが分かっているとき、カラオケを趣味とする人は誰か。ただし、5人の趣味は全て異なるものとする。

- ア AとCは将棋の駒の動かし方を知らない。
- イ AとDは自転車に乗ることができない。
- ウ BとCとEはサーフィンとゴルフをしたことがない。
- エ BとDの趣味はスポーツである。

- 1 A
- 2 B
- 3 C
- 4 D
- 5 E

【No. 4】 A～Eの5人は、ある野球チームにおいてキャッチャー、ファースト、セカンド、サード又はショートのいずれか異なる一つのポジションの選手である。今、次のア～キのことが分かっているとき、Eのポジションはどれか。

- ア AとDは、いずれもキャッチャーではない。
- イ ファーストは、Bと同じ高校の出身である。
- ウ Bは、キャッチャーと同じ町に住んでいる。
- エ セカンドは、Cとよく食事をする。
- オ BとDは、サードとショートとの4人で時々ゴルフをする。
- カ キャッチャーは、昨日Eと口論になった。
- キ Aは、ショートのいとこである。

- 1 キャッチャー
- 2 ファースト
- 3 セカンド
- 4 サード
- 5 ショート

【No. 5】 ある商店で、商品Aを1個50円、商品Bを1個10円で販売を開始し、この2品目の初日の売上げは合計で5,800円であった。2日目に商品Aを10円値下げしたところ、商品Aの販売数量は10個増え、この2品目の売上げは合計で5,000円であった。2日目の商品Aの販売数量はどれか。ただし、商品Bの販売数量は、両日とも12個以上20個以下であったものとする。

- 1 120個
- 2 121個
- 3 122個
- 4 123個
- 5 124個